

令和二年 第十八期くまもと俳句ポスト

第十八期開函

日本伝統俳句協会副会長 岩岡 中正 選

特選

四時軒しじけんの失意を包む春日かな

熊本県熊本市

柳田 孝裕

【講評】

幕末の最大の思想家のひとりの横井小楠の旧居・四時軒を訪れた作者。今も豊かな春の日射しと自然の中で、地元ちよんの熊本藩の外では高く評価されていたのに藩内では厳しい扱いを受けていた小楠の「失意」を詠んだ句。しかしそれにもめげない意気軒昂な小楠。「失意を包む春日かな」と歴史をよく学んだ上で詩情豊かに詠まれた佳句です。

わが輩通り賞

八千代座に海老蔵来たる秋日和

熊本県熊本市

鶴田 信吾

入選

寂しさや能楽堂に冬の鳥

熊本県熊本市

梶山 純子

紅葉がくまもんほつぺをおもわせる

熊本県山鹿市

大坂 たかひろ

主なき八雲旧居や秋の声

熊本県熊本市

後藤 博文

佳作

文机に秋日差しをり八雲邸

岐阜県大垣市

高瀬 寿美江

名園の枯芝といふ柔らかかさ

熊本県熊本市

西村 孝子

石を抱く走り根太し漱石忌

熊本県熊本市

轟 眞理子

色鳥や能楽堂に日の零る

熊本県熊本市

堀地 久美子

せみ時雨武蔵も聞きし靈巖洞

東京都国立市

阿部 修治

楠若葉巨大山門本妙寺

熊本県熊本市

菊池 一郎

鳥の啼く三賢堂や竹の春

熊本県熊本市

坂口 美穂子

八雲邸しとど降る雨石蔭の花

兵庫県洲本市

渡辺 幸子

春光やガラスに映る八雲像

茨城県取手市

石塚 灯舟

鴨鳴きて鯉口開ける水前寺

熊本県熊本市

三隅 康資

投句総数 百四句

市外 二十一句

市内 八十三句

開函日 令和二年十二月三十一日